

# 「津幡町弓道協会の紹介」

会 長 瀬村 義弘

## 1. 沿革

昭和55年に津幡町弓道協会設立。その時協会員5名で町に道場建設を具申。弓道の持つ生涯スポーツとしての意義が認められ、道場の建設が決定された。郡内の各道場の建設が無言の後押しになり昭和56年に津幡町総合体育館弓道場が落成し、実質的活動に入ることとなった。

昭和61年に男子が県体で団体優勝の輝かしい実績を残している。

## 2. 協会概要

○会員数： 23名（男子11名 女子12名）

○活動日・時間： 火～日 午前9時～正午 午後6時～午後9時30分

※但し、日曜日は午後7時 その他、高校生部活等で変更あり

○年会費： 8,000円

○主な活動： 町記録会・講習会・新年の「射初会」、年末の「納射会」

郡市スポーツ大会、県民スポーツ大会、郡市定例射会、

郡市選手権大会、県連主催の大会、各協会主催の記念大会等

## 3. 今後の展望

次代を担う20歳から50歳代の年齢層の人が少なく、また参・四段の会員が少ない状況にある。いかにして会員を増やしていくかが急務となっている。特に若い人が増えてほしい。指導は称号者を中心に行っているが、その他の会員の協力も得ながら、みんなが仲良く、弓道を喜びとする規律ある協会になることを願ってやまない。



(稽古風景)



(初心者教室)

